



<目指す学校像>

- 学びたくなる学校
(わかる授業、わかる喜びのある学校)
- 通わせたくなる学校
(楽しく、安全で安心できる学校)
- やりがいのある学校
(活動場面と成就感を感じ得る場面がある学校)
- 人権が尊重される学校
(自他の存在をかけがえのないものと感じさせる学校)



「九州オルレ」

<学校教育目標>

「知・徳・体の調和のとれたたくましい子どもの育成」

- I 自己学習力をつける
- II 人間関係力をつける
- III 中1ギャップの解消
- IV 小中連携の推進



「八女伝統文化産業体験学習」



自己学習力とは・・・

課題意識を持って活動(学習や生活行動)し、その活動を振り返り、得た知識や方法、改善点等を次の活動に活かし、よりよい学び方・生き方を求める力。

人間関係力とは・・・

他者の個性を尊重(他者理解力)し、自己の個性を発揮(自己表現力)しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・協同してものごとに取り組む力。
(問題解決力)

本年度重点目標

☆ 自分で考え判断し、考えたことを表現することのできる生徒の育成

- ・ 小学校の学習を統合、中学校の学習の構築
- ・ 思考場面・交流場面のある授業の創造



「茶摘み体験」

<授業づくり>

- 何を考え、何を学ぶのか、明確なめあてのある授業
- 思考活動・交流活動がある授業づくりの推進
- 「考え、議論する」道徳授業の研究と実践
- 「郷土」をテーマにした体験重視の総合的な学習の時間
- 総合・特活・道徳を連動させた3年間を見通したキャリア教育

<生活態度及び人間関係づくり>

- 清掃・給食等の基本的な活動指導の徹底
- 各学級活動と連動した生徒会活動の充実
- 交流活動を位置づけた朝・帰りの会の充実(聴く・伝える活動の推進)
- 人権を大切にする言動指導の徹底

<家庭及び小中連携>

- 「学習の手引き」の配布と自学ノート指導の徹底
- 学習及び生活面における小中一貫性ある規律指導
- 児童・生徒への支援充実のための情報交換
- 小中相互の授業参観・出前授業の推進
- 特別の教科「道徳」の研究

<124名の仲間たち(在籍生徒数)>

	1年	2年	3年	合計
生徒数	43	37	44	124
学級数	1	1	2	4(2)

※()内は、特別支援学級数(外数)



「体育大会」



「全校合唱」